

1・平成 20 年度事業報告

日本協会のビジョンである「ラグビー競技が誰からも愛され、親しまれ、楽しめる人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、各関係方面のご支援・ご協力のもと、各大会および各事業を実施した。

国内大会関係

1. 第 50 回 YC&AC JAPAN SEVENS

4月6日(日) Yc&AC グランド

優勝：YC&AC (初優勝)

2. 第 9 回全国高等学校選抜大会

4月1日(火)～7日(日) 熊谷ラグビー場

優勝：常翔啓光学園 (3年ぶり3回目)

3. ジャパンセブズ高校の部

4月12日(土) 江戸川競技場

優勝 ・カップトーナメント 九州選抜
・プレートトーナメント 近畿選抜
・ボウルトーナメント 関東選抜

4. 全国高等学校合同チーム大会

7月22日(火)～25日(金) 菅平高原

優勝(U17の部)

・カップトーナメント 近畿選抜
・プレートトーナメント 東北選抜
・ボウルトーナメント 東海選抜

優勝(U18の部)

・カップトーナメント 近畿選抜
・プレートトーナメント 関東選抜
・ボウルトーナメント 東海選抜

5. ジャパンラグビ - トップリーグ 2008-2009

リーグ戦 9月6日(土)～平成21年1月18日(日)

場所：札幌・岩手・宮城・山形・新潟・長野・栃木・千葉
埼玉・神奈川・群馬・東京・石川・静岡・京都・愛知・
大阪・兵庫・岐阜・岡山・広島・徳島・福岡・熊本・
大分・長崎・佐賀・鹿児島(全国28会場)

<リーグ戦>

・1位	東芝	勝点	59
・2位	三洋電機	勝点	58
・3位	サントリー	勝点	51
・4位	神戸製鋼	勝点	43
5位	NEC	勝点	37
6位	クボタ	勝点	37
7位	ヤマハ発動機	勝点	35
8位	トヨタ自動車	勝点	31
9位	近鉄	勝点	28
10位	コカ・コーラウエスト	勝点	26
11位	サニックス	勝点	21
12位	九州電力	勝点	18
13位	日本IBM	勝点	8
14位	横河電機	勝点	8

上位4チームがプレーオフトーナメントに出場

<セミファイナル>

平成21年2月1日(日)

・東芝(26-7)神戸製鋼 秩父宮ラグビー場
・サントリー(22-32)三洋電機 花園ラグビー場

<ファイナル>

平成21年2月8日(日) 秩父宮ラグビー場

・東芝(17-6)三洋電機
・東芝4度目の優勝

6. トップリーグ入替戦および昇格

・入替戦 平成21年2月14日(土)福岡レベルファイブ
九州電力(TL12位)(31-10)マツダ(チャレンジ3位)
サニックス(TL11位)X38-22)豊田織機(チャレンジ2位)
九州電力・サニックスはトップリーグに残留
・トップリーグへの昇格 ・リコー(チャレンジリーグ1位)
本田技研(チャレンジリーグ2位)

7. 第1回トップリーグ オールスター チャリティーマッチ

平成21年3月8日(日) 花園ラグビー場

FOR ALL EAST(87-55)FOR ALL WEST

8. 第63回 国民体育大会<主催(財)日本体育協会>

10月3日(金)～7日(火) 大分県

優勝：成年男子 三重県(52-7) ・竹田市

・三重県は3年ぶり2度目の優勝

優勝：少年男子 福岡県(36-22) ・由布市

・福岡県は12年ぶり2度目の優勝

9. 第21回女子ラグビー交流大会(合同)

11月24日(月) 江戸川臨海球技場

・Phoenix・江戸川・早稲田・兵庫(7-24)世田谷・レット

・日体大・小平・寝屋川(5-40)名古屋・京都

・リパティエ・小平・世田谷・八戸・早稲田・個人

(14-24)前橋・高崎・上磯

・Phoenix・江戸川・早稲田・兵庫

(15-0)日体大・小平・寝屋川

・世田谷・レット(0-37)名古屋・京都

<高校生8人制(10分ハーフ)>

・青ジャージ(17-26)青・白ジャージ

10. 第7回東西学生クラブ対抗試合

12月20日 花園ラグビー場

近大同好会(38-65)早稲田こんぶれっくす

11. 第45回全国大学選手権大会

12月20日(土)～平成21年1月10日(土)

準決勝：平成21年1月2日(金) 国立競技場

帝京大学(36-10)関西学院大学

早稲田大学(36-12)東海大学

決勝：平成21年1月10日(土) 国立競技場

帝京大学(10-20)早稲田大学

・早稲田大学は2連覇 15度目の大学日本一

12. 第88回全国高等学校大会

12月27日(土)～平成21年1月7日(水) 花園ラグビー場

準決勝：平成21年1月5日(火)

常翔啓光学園(22-15)東福岡高校

京都成章高校(0-3) 御所工業・実業高校
決勝：平成21年1月7日(水)
常翔啓光学園(24-15) 御所工業・実業高校
・常翔啓光学園は4大会ぶり7度目の高校日本一

13. 第16回全国クラブ大会

平成21年1月11日(日)~2月1日(日)
準決勝：平成21年1月12日(月) 熊谷ラグビー場
タマリバ(29-8) 北海道バーバリアンズ
駒場MM(25-5) 三鷹オールカマーズ
決勝：平成21年2月1日(日) 秩父宮ラグビー場
タマリバ(64-17) 駒場MM
・タマリバは6連覇達成

14. 第59回全国地区対抗大学大会

平成21年1月2日(金)・4日(日)・6日(火)
瑞穂公園ラグビー場
準決勝 平成21年1月4日
環太平洋大学(12-92) 新潟大学
名城大学(36-5) 東京学芸大学
決勝 平成21年1月6日
新潟大学(19-62) 名城大学
・名城大学は20年ぶり8度目の優勝

15. 第39回全国高等専門学校大会

平成21年1月4日(日)・5日(月)・7日(水)・9日(金)
神戸総合ユニバー記念陸上競技場
準決勝 平成21年1月7日
神戸市立工業高専(44-5) 豊田工業高専
奈良工業高専(13-7) 宮城工業高専
決勝 平成21年1月9日
神戸市立工業高専(27-0) 奈良工業高専
・神戸市立工業高専は2年連続7度目の高専日本一

16. 第14回全国ジュニアラグビー大会

平成21年1月2日(金)・4日(日) 花園ラグビー場
優勝 第1ブロック
福岡選抜(29-21) 兵庫県スクール選抜
優勝 第2ブロック
長崎県選抜(5-22) 京都府中学校選抜

17. 第32回全国高等学校東西対抗試合

平成21年1月11日(日) 秩父宮ラグビー場
東軍(55-26) 西軍

18. 第63回東西学生対抗試合(ATQチャレンジシリーズ)

平成21年1月18日(日) 瑞穂公園ラグビー場
東軍(102-14) 西軍

19. 第46回日本選手権大会

平成21年2月7日(土)~2月22日(日)
準決勝 平成21年2月22日(日) 花園ラグビー場
リコー(3-59) 三洋電機
東芝、試合辞退のためサントリーが決勝進出
決勝 平成21年2月28日(土) 秩父宮ラグビー場
サントリー(16-24) 三洋電機
・三洋電機は2連覇

20. 三地域対抗試合

平成21年3月14日(土) 長崎県運動公園競技場
九州代表(7-48) 関東代表

平成21年3月22日(日) 熊谷ラグビー場
関東代表(41-19) 関西代表
平成21年3月29日(日) 花園ラグビー場
関西代表(67-33) 九州代表

21. 第59回朝日招待ラグビー

平成21年3月20日(金) 福岡レベルスタジアム
九州代表(38-55) 早稲田大学
・早稲田大学は2連勝

22. 第5回全国小学生タグラグビー選手権大会

平成21年2月21日(土)・22日(日) 秩父宮ラグビー場
優勝
・カップトーナメント : 篠栗町立北勢門小学校
・プレートトーナメント : 磐田市立東部小学校
・ポウルトーナメント : 京都市立春日野小学校「ハンズボンズ」
・シールドトーナメント : 佐野市立小学校連合「佐野少年クラブ」

国際大会・海外遠征関係

<高校>

1. サニックス ワールド・ラグビ ユース国際交流大会
4月29日(火)~5月5日(月) 福岡 グローバルアリーナ
・優勝 : グレンウッドハイスクール(南ア)
・準優勝 : タルブハイスクール(フランス)
・3位 : キズボーンボーイズハイスクール(NZ)
・4位 : セントエドマンズカレッジキャンペラ(豪州)
・5位 : セントベネディクトスクール(イングランド)
・6位 : 東福岡高(日本)
・7位 : 佐賀工高(日本)
・8位 : ラトゥカダヴレヴスクール(フィジー)
・9位 : 常翔啓光学園(日本)
・10位 : 伏見工高(日本)
・11位 : 尾道高(日本)
・12位 : 桐蔭学園(日本)
・13位 : 流通経済大付属高(日本)
・14位 : 長崎北陽台高(日本)
・15位 : キョンサンハイスクール(韓国)
・16位 : シンクレアセカンダリースクール(カナダ)

2. 第16回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会

<主催(財)日本体育協会>

- 8月23日(土)~8月29日(金) 千葉県 総合センター
- ・日本代表(57-10) 韓国代表
 - ・日本代表(93-0) 中国代表
 - ・千葉県選抜(0-75) 韓国代表
 - ・千葉県選抜(46-0) 中国代表
 - ・韓国代表(44-5) 中国代表
 - ・日本代表は2戦2勝

3. 高校日本代表・イングランド遠征

- 平成21年3月17日(火)~31日(月)
- ・第1戦 高校代表(14-50) イングランドU18選抜
 - ・第2戦 高校代表(7-51) レスタータイガース

- ・第3戦 高校代表(7-71) イングランドU18代表
- ・高校日本代表は3戦0勝3敗

<日本女子代表>

4. IRB アジア 15人制女子大会

6月3日(火)~6月7日(土) カザフスタン

参加国(シード順): カザフスタン・日本・シンガポール

香港・ウズベキスタン・キルギス

準決勝

- ・日本代表(17-10) シンガポール代表

決勝

- ・日本代表(3-39) カザフスタン代表
- ・日本女子は前回に続き準優勝

5. IRB セブンズ女子W杯アジア地区予選

10月4日(土)~10月5日(日) 香港

- ・第1試合 日本代表(27-0) 台湾代表
- ・第2試合 日本代表(10-12) タイ代表
- ・セミファイナル 日本代表(5-0) カザフスタン代表
- ・ファイナル 日本代表(17-12) タイ代表
- ・日本はアジア地区予選で優勝、女子セブンズW杯出場権を獲得

6. IRB 女子ワールドカップセブンズ

平成21年3月5日(木)~3月7日(土) ドバイ

<予選プール>

- 日本代表(10-31) ロシア代表
- 日本代表(0-38) アメリカ代表
- 日本代表(0-47) イングランド代表
- ポウルトーナメント準々決勝で中国に5-21で敗退
- 優勝 ポウルトーナメント : 中国
- プレートトーナメント : イングランド
- カップトーナメント : 豪州

7. IRB セブンズ女子香港大会

平成21年3月27日・28日 香港

- 1戦目 : 日本代表(7-15) 中国代表
- 2戦目 : 日本代表(22-0) タイ代表
- 3戦目 : 日本代表(7-15) フランス代表
- 日本代表「C組2位」(7-15) フランス代表「B組1位」
- 日本代表(10-7) アラビアンガルフ「D組2位」
- 日本代表はポウルファイナルに進出し、中国に(7-17)で負け6位(12カ国出場)

<セブンズ日本男子代表>

8. IRB アデレードセブンズ

4月5日(土)~6日(日) 豪州 アデレード

<予選プール>

- 日本代表(0-53) トンガ代表
- 日本代表(26-36) サモア代表
- 日本代表(17-24) ウェールズ代表

<ポウル1回戦>

- 日本代表(12-24) アルゼンチン代表

<シールドセミファイナル>

- 日本代表(19-24) カナダ代表

9. IRB サファリセブンズ

6月7日(土)~8日(日) ケニア

<予選プール>

- ・第1戦 日本代表(0-35) University Grenoble
- ・第2戦 日本代表(26-12) Bristol University Select
- ・第3戦 日本代表(7-34) Fiji

<ポウル1回戦>

- ・日本代表(24-5) ZAMBIA
- ・準決勝 日本代表(33-21) Namibia
- ・決勝 日本代表(19-12) SHUJAA
- ・日本代表3勝0敗でポウルトーナメントで優勝

10. IRB セブンズW杯アジア地区予選

10月4日(土)~10月5日(日) 香港

<予選プール>

- ・1日目 日本代表(41-0) タイ代表
- 日本代表(31-0) カザフスタン代表
- ・2日目 日本代表(24-0) 中国代表
- 日本代表(12-10) 香港代表

日本代表はアジア地区予選で優勝しW杯出場権を獲得する。

11. IRB USA サンディエゴ大会

平成21年2月14日(土)・15日(日) アメリカ

<予選プール>

- ・1日目 日本代表(7-33) サモア代表
- 日本代表(12-35) イングランド代表
- 日本代表(12-29) スコットランド代表
- ・2日目 ポールトーナメント
- 日本代表(12-28) ウェールズ代表

<シールドトーナメント>

- 日本代表(10-26) ウルグアイ代表

12. IRB ワールドカップセブンズ

平成21年3月5日(木)~3月7日(土) ドバイ

<予選プール>

- ・1日目 日本代表(5-26) 南アフリカ代表
- ・2日目 日本代表(10-31) スコットランド代表
- 日本代表(12-22) カナダ代表

<ポウルトーナメント>

- 日本代表(12-19) ウルグアイ代表

日本代表は4戦0勝4敗

13. IRB セブンズ香港大会

平成21年3月27日(金)~20日(日) 香港

出場チーム数 24チーム

<予選プール>

- ・1日目 日本代表(5-14) ウェールズ代表
- ・2日目 日本代表(0-50) イングランド代表
- 日本代表(21-17) 中国第代表
- ・ポウル1回戦 日本代表(26-10) スリランカ代表
- 準決勝 日本代表(10-26) ポルトガル代表
- ・優勝国
- ・ポウルトーナメント : ポルトガル
- ・プレートトーナメント : トンガ
- ・カップトーナメント : 南アフリカ

<U20日本代表>

14. IRB ジュニア ワールドチャンピオンシップ2008

6月6日(金)~6月24日(水) ウェールズ

<予選プール>

- ・U20 日本代表(17-53)U20 フランス代表
- ・U20 日本代表(10-33)U20 ウェールズ代表
- ・U20 日本代表(20-24)U20 イタリア代表

<順位決定戦(13位~16位)>

- ・U20 日本代表(5-17)U20 トンガ代表
 - ・U20 日本代表(44-8)U20 アメリカ代表
- U20 日本は15位(来年日本開催出場権獲得)
(1位・ニュージーランド 2位・イングランド)

<15人制日本代表>

15. IRB アジア5カ国対抗2008

4月26日(土) 韓国・仁川

- ・日本代表(39-17)韓国代表

5月3日(土) 花園ラグビー場

- ・日本代表(114-6)アラビアンガルフ代表

5月10日(土) カザフ・アルマティ

- ・日本代表(82-6)カザフスタン代表

5月18日(日) 新潟・ビッグスワンススタジアム

- ・日本代表(75-29)香港代表
- ・日本代表は今大会の初代チャンピオン

16. クラシック・オールブラックス戦(強化試合)

5月31日(土) 国立競技場

- ・ジャパン XV(13-15)クラシック・オールブラックス

17. IRB パシフィック・ネーションズカップ(6カ国出場)

6月8日(日) 福岡レベルスタジアム

- ・日本代表(21-42)豪州A代表

6月15日(日) 宮城・ユアテックスタジアム

- ・日本代表(35-13)トンガ代表

6月22日(日) 国立競技場

- ・日本代表(12-24)フィジー代表

6月28日(土) NZ・ネーピア

- ・日本代表(22-65)ニュージーランド マオリ

7月5日(土) サモア・アピア

- ・日本代表(31-37)サモア代表

この結果日本代表は5位。1位NZマオリ・2位豪州A

18. リボピタンDチャレンジマッチ

11月16日(日) 瑞穂ラグビー場

- ・日本代表(29-19)アメリカ代表

11月22日(土) 国立競技場

- ・日本代表(32-17)アメリカ代表

日本代表は2戦2勝

19. 日仏交流150年親善試合

<大学親善試合>

- ・7月6日(日) 国立競技場(ナイター)
早稲田大学(0-27)フランス大学選抜
- ・7月10日(木) 国立競技場(ナイター)
大学選抜(20-19)フランス大学選抜

<U18親善試合>

- ・7月25日(金) 菅平高原サニアパーク
関東高校代表(0-54)U18フランス代表
- ・7月29日(火) 菅平高原サニアパーク

高校日本代表(5-54)U18フランス代表

・8月1日(金) 菅平高原サニアパーク

高校日本代表(10-28)U18フランス代表

各委員会関係

各委員会・各部門は次の事業を実施した。

1. 管理委員会

(1). 法務部門

1. W杯招致、選手の更なる強化・プロ化に応じるためのインフラ整備への協力を行った。
2. 上記目的のための契約締結過程における協会主導での交渉のための標準契約を策定した。
3. スポーツ仲裁機構による仲裁導入を推奨した。
4. 契約締結意思決定における一般財団法人としてのリスクの認識と責任所在の明確化のためプロセス提言を行った。
5. その他法務に関する問い合わせ事項に対応した。

(2). 財務部門

4回の財務専門会の開催と日常の財務活動を通じて、当協会の財務状況の分析および財務面での課題の検討を行った。特に、平成21年度の予算編成に際しては、事務局の予算編成作業に協力するとともに、財務専門会における討議を踏まえて「平成20年度収支の問題点と次年度予算編成における課題」と題する文章を協会幹部その他に報告した。

(3). 環境部門

社会貢献活動の一つと位置付け、ラグビーを通じて環境保全に関する啓発・実践活動の推進を図ることをテーマとして取り組んだ。

1. 事業活動

日本協会として「環境保全活動推進宣言」を行った。
「チームマイナス6%」(環境省主管)へ加盟メンバーとして環境保全活動への推進協力を継続した。
広報委員会との連携・協力体制により環境PR活動の推進を図った。
トップリーグ事業委員会とのコラボレーションによる相乗効果を図った。
12月25日開催のJOC環境担当者会議に参加し他団体の取り組み事例の研究をした。
すべての実践活動を広報PRに連動させ、更なる環境啓発に向けた相乗効果を図った。

2. 具体的実施内容

広報活動(環境啓発PR)

広報委員会との連携によりHP、機関誌、プログラム、メンバー表等への環境保全活動推進を掲載した。

- ・「One For Green All For Earth」のタイラインの活用
 - ・「チームマイナス6%」の露出
 - ・7月7日「クールアース・デー」をHPで配信を行った。
(セタライトダウン、ノーカーデー、一人一日1kgのCO2削減運動)
- 試合(競技場)を観客・ファンへの環境啓発活動のチャン

スと捉えてのPRを推進、環境協力バナー（横断幕）を作成しグラウンドに掲出した。

試合開催時の場内アナウンスにより、ゴミ分別回収協力による資源再利用を訴えた。

NPO 法人グリーンバードとのエコラボ協力によるゴミ持ち帰り運動『専用ゴミバック配布』と試合後のボランティア清掃活動を実施した。

トップリーグ参加チームと日本協会により {Try For Green プロジェクト} を展開し、トライ数に応じてチームと協会と金額を出し合い森林保全活動支援を行った。（網走市への寄附）

2. マーケティング委員会

(1) マーケティング包括契約

電通とのマーケティング包括契約の3年目となる20年度前年実績と同額で合意した。

(2) マーチャンダイジング契約

19年度まで博報堂スポーツマーケティングと契約していたが、電通を加えた2社での入札の結果、20年度より電通と4年契約を締結した。アイテムによっては在庫等の難しい問題に取り組みかねばならないが、将来の有力な財源とすべく育てていかなければならない。

(3) 日本代表関連

【大正製薬 日本代表オフィシャルスポンサー契約】

2007年契約満了に伴い電通と協働して契約更改の交渉を行った結果、実績金額により4年間の契約更新が決定した。基本的な権利内容は据え置きだが、CSR要素での権利、特に小学生に対するラグビークリニックの実施権を強く求められ、早速リポDチャレンジの際に実施した。

【カンタベリー日本代表オフィシャルスポンサー契約】

2007年契約満了に伴い契約更改の交渉を行った結果、実績金額からのアップを獲得し、4年間の契約更新が決定した。基本的な権利内容は据え置きだが、日本代表ウェアのセールスプロモーション活動の活性化を図るべく権利の追加を実施した。

【HSBC 五カ国対抗2008】

5月3日（花園ラグビー場）5月18日 新潟 東北電力ビッグスワン）にてARFU主催試合として初開催。マーケティング権はARFUが保有するため、日本協会は開催国として運営面で協力している。冠スポンサーであるHSBCはアジアを代表する優良金融企業であり、日本協会としても積極的にアプローチしていきたい。

【リポビタンDチャレンジ ジャパンXV対クラシックオールブラックス】 5月31日 東京・国立競技場

・大正製薬がタイトルスポンサーとして、年間契約以外に追加協賛

・電通との協働により、新規スポンサーを獲得

【IRB パシフィックネーションズジャパンラウンド】

6月8日（福岡レベルルファイブ）・15日（仙台ユアテイク）・22日（東京・国立競技場）にて開催

・東芝が日本開催試合にシリーズタイトルスポンサーとして協賛

・九州開催試合において、九州電力がエリアスポンサーとして協賛

・電通との協働により、JOC マーケティングプログラムを活用し協賛獲得（クボタ）

【リポビタンDチャレンジ】

・日本代表オフィシャルスポンサー大正製薬の権利として、2試合冠試合を実施。

・大正製薬のCSR活動の一環として、試合前に小学生を対象にタグ・ラグビー教室を開催した。初の試みであったが両会場共に円滑に運営され、参加者、スポンサー共に満足できる結果となり、今後も継続予定

(4) その他大会

【サントリー全国小学生タグ・ラグビー選手権大会】

第5回を終え、本大会も楕円球に触れる機会を小学生に与える貴重な大会として定着してきた。参加者数も順調に推移し、20年度第5回大会はチーム数1,149、参加選手数9,761名を数え、何れも過去最高となった。スポンサー（サントリー）は今後も継続して協賛を検討しているが、更なる大会規模拡大に向けサブスポンサー獲得を図りたい。

(5) その他の主要案件スポンサーセールス

【年間横幕スポンサー】

新たにトップリーグに昇格した近鉄が新規スポンサーとなったが、他社の減額があり全体としては若干前年を下回った。メディアでの露出が乏しいため、横幕広告の費用対効果が疑問視されており、抜本的な改革が求められている。現在テレビでの安定した露出を確保するために、電通と共同で番組企画を検討しており、21年度の試験的実現を目指す。

【トップリーグプレーオフ マイクロソフトカップ】

マイクロソフト社が大幅な減額となった。21年度復活交渉中だが見通しは厳しく、至急代替スポンサーを戦略的に探す必要がある。

【U20 世界選手権】

大会開催が決定した直後より、ラグビーネットワークを生かし、ラグビー実績及び関連企業を中心に積極的にトップセールスを実施。タイトルスポンサー東芝をはじめ、オフィシャルパートナー読売新聞、大正製薬、オフィシャルスポンサー、サプライヤーを合わせ計16社からの協賛を獲得した。

(6) その他

【トップリーグ企業とのリレーション強化】

マーケティング委員会とトップリーグ委員会の協働により、トップリーグシーズン終了後に、参加チーム企業を訪問し、チーム統括者や企業のマネジメントの方々とシーズンを回顧し、ご意見を聴取し今後の参考にする。

【IRB ジュニアワールドチャンピオンシップ、ラグビーワールドカップ2015・2019 招致への協力をお願い】

3. 広報委員会

< 事業方針 >

ラグビーを通じて人に感動を与え、あらたなファンを獲得するための広報施策を、積極的に展開した。

< 広報活動の目標 >

- ・マスコミとの良好な関係作り
- ・観客動員に資する広報活動
- ・新たなファンづくり

広報・事業部門

協会運営・事業広報

(1) マスコミとのリレーション

- ・マスコミ懇談会の開催
秋のシーズンへの報道支援を主目的として8月29日、08シーズンの総括とJWCへの報道支援を主目的として2月28日の年2回、新聞、テレビ各社の運動部長を中心に協会幹部との懇談会を開催した。
- ・報道機関への挨拶回り
7月末、1月末の年2回、ラグビーへのさらなる理解促進を目的として、協会幹部により新聞、テレビ各社を訪問した。

(2) 広報戦略の企画・立案

- ・中・長期的なメディアプランの企画・立案
継続したステークホルダーとのコミュニケーションが求められる広報業務の円滑な活動のため、広報委員会リーダー席と協会・広報との週1回の広報ミーティングを実施、課題の抽出とアクションプランの策定を継続して行った。

(3) 各部門への広報支援

- 各部門との連携により、デイリーなニュース発信、話題の発掘に心がけ、タイムリーで効果的な手法(会見、資料配信など)による情報提供を行った。

(4) 各部門との連携

- ワールドカップ招致との連携
招致実行委員会へ広報委員会として出席、常時、報道プラン策定に参画している。
- ・JWC 運営組織(Sente 社含む)との連携
JWCに関する報道のすべてに関連している。さらに、1月には、当委員会内にJWC 広報支援プロジェクトを設置、3月からは同スタッフとのPRミーティングを週一で開催し、主導的にPR活動を推進した。
- ・マーケット、事業、普及育成委員会との連携
さらにきめ細かい広報対応のため、幅広く委員会との交流が今後の課題である。

(5) 危機管理広報

- ・危機管理広報対応
不祥事案への迅速・的確な対応を行った
- ・各層代表へのリスクマネジメント広報講習
一部代表(U20, 高校)への実施に止まったが、新行動規範等をベースにマニュアルの見直し等を行い、協会全体のリスクマネジメント広報ガイドラインを検討・作成し、研修等で活用した。

(6) 日常広報業務

- 協会・広報部門を主とする日常業務に対し、助言・判断を行っている。
- ・取材(会見)対応
- ・ニュース・ソースの発掘
- ・ニュース・リリースの作成・配信
- ・関係先との調整
- ・ホームページによる情報発信
- ・機関誌編集

・競技時広報の運営

- ・競技時広報の運営支援・指導(地方)

情報管理部門

(1) ホームページの管理・運営及び情報基盤の整備

- ・ホームページに関し、情報基盤の整備を行い、セキュリティも重視した新たなサーバー環境とした。結果、大幅な運用コストのダウンにつなげた。
- ・JWCを意識した国際基準での試合記録に対応した。

(2) 魅力あるホームページの作成

- ・ホームページトップのリニューアルを実施した(試合予定結果等の配置、見やすさを重視)

(3) 読まれる機関誌の作成

- ・年間5号の発行となった。
- ・担当者による編集会議を新設した。
- ・協会機関誌としての位置づけを明確化し、トップページに会長レベルによるステイメントを掲載した。

競技運営部門

- ・試合現場対応・支援、試合後会見運営・支援、試合記録に適宜対応した。
- ・三地域協会と競技運営、広報関連面での連携を図った。
- ・1月には、当委員会内にJWC 競技運営支援プロジェクトを設置、開催地の地域協会した。

4. 事業委員会

1. 主催試合及び大会の事業・企画・運営に関する事項

国内大会開催(主な大会) = 結果は「国内大会関係」参照

- ・第9回全国高等学校選抜大会
- ・ジャパンセブンズ高校の部
- ・ジャバントップリーグおよびプレーオフトーナメント
- ・第45回全国大学選手権大会
- ・第88回全国高等学校大会
- ・第16回全国クラブ大会
- ・第59回全国地区対抗大学大会
- ・第39回全国高等専門学校大会
- ・第14回ジュニアラグビー大会
- ・第32回高校東西対抗試合
- ・第63回大学東西対抗試合(ATQ チャレンジ)

- ・第46回日本選手権大会
- ・第59回朝日招待試合
- ・第5回全国小学生タグラグビー選手権大会

国際大会開催(主な大会) = 結果は「国大会関係」参照

- ・第9回ワールド・ラグビー国際交流大会
- ・第16回日・韓・中ジュニア交流競技大会
(主催 (財)日本日本体育協会)

- ・アジア5カ国大会、日本開催 2試合
日本対アラビアンガルフ・日本対香港 2試合
- ・IRB パシフィック・ネーションズ 日本開催 3試合
日本対豪州A・日本対トンガ・日本対フィジー
主催大会の事業企画の立案し実施した。
試合日程の作成と関係者・関連機関との調整を行った。
三地域、都道府県協会との連携による運営を実施した。
行政・関係機関との連携による告知・啓蒙活動の行った。

各メディアとの協調による大会告知・広報の充実と集客拡大につとめた。

女性ファンを対象に「女子秩父宮イベント」を実施した。
メンバーズクラブ会員への各種サービスを実施した。

チケット優先購入・優先入場・ファンクションへの参加
グッズ販売等

ラグビーファン・競技人口の拡大のため「ラグビーファンマガジン」フリーペーパーを7月・11月・2月に各10万部作成し配布した。

(1) . 国体部門

1. 第63回国体開催事項について会議を行った。
 - ・大分県実行委員会 ・竹田市実行委員会
 - ・由布市実行委員会 ・九州ラグビーフットボール協会
 - ・大分県ラグビーフットボール協会
2. 平成21年以降の開催県との打合せを行った。
 - ・新潟県(21年) ・千葉県(22年) ・山口県(23年)
3. 平成26年第69回国体開催地(長崎県)の競技会場視察を行った。
 - ・平成21年1月23日(金)~24日(土) 視察者=小畔
4. 国体部門会議の開催
 - ・議題=国体改革に伴う諸問題について
ブロック予選方法・7人制(成年・男子)および女子種目等の採用について検討した。
5. 第63回・国民体育大会への参加(少年男子・成年男子)
大会期間:10月3日(金)~10月7日(火)
組合せ抽選会の実施・9月7日(日) 午後1時 日本協会
代表者会議の実施 ・成年男子・少年男子
10月2日(木) 15:00~ 竹田市直入中央会館大ホール
表彰式
 - ・成年男子および総合
10月7日(火)12:00~竹田市運動公園競技場
 - ・少年男子
10月7日(火)11:50~湯布院スポーツセンター球技場
6. 意見交換会
 - ・10月6日(月) 18:00~(由布市)
参加者=開催地市長・九州協会役員・大分県協会役員
国体委員・日本協会役員

(2) . 社会人部門

1. トップリーグを除く、社会人ラグビーをどう活性すべきか検討会を実施した。
2. YC&AC7人制大会の協力(4月6日・横浜YC&AC)
大学8・社会人6・クラブ2 計16チーム
3. 社会人チームに有料試合の集客拡大のため、チケット購入等協力依頼を行った。
4. 第63回国民体育大会・成年の部(大分県・竹田市)の協力

(3) . 大学部門

各種大会の結果は「国内大会関係」を参照

1. 第46回全国大学選手権の組合せ抽選会を公開で実施した。
2. 東西学生対抗試合「全国オールスターゲーム」協力
平成21年1月18日 名古屋 瑞穂ラグビー場
3. 第59回全国地区対抗大学の協力

場所 愛知 瑞穂公園ラグビー場

平成21年1月2日・4日・6日

4. 大学部門の開催 平成21年3月5日 日本協会
議題

- ・JWCへの動員協力について
- ・抽選会について反省・今後の方法について
- ・外国人選手に対してチームとしての指導徹底
- ・U20の強化対策について
- ・大学チームへ集客動員のお願いについて

(4) . クラブ部門

1. ラグビー文化<フェアプレー・ノーサイドの精神>
One For All All For One・アフターファンクション
などラグビー文化の素晴らしさをより多くの選手、関係者に周知しラグビーの普及に一助とした。
 - ・各種クラブ大会でのラグビー文化の啓蒙活動、すべてのクラブ大会でアフターマッチファンクションを実施した。
 - ・ユースクラブ・少人数高校チームに対しても、講習会にてラグビー文化の啓蒙活動および試合後のファンクションを実施した。
2. クラブ大会の開催
 - ・第16回全国クラブ大会(12月~1月・埼玉・熊谷・東京)
 - ・学生クラブ東西交流戦(8月・長野・菅平)
 - ・第7回東西学生クラブ対抗試合(12月・大阪・花園)
 - ・第6回クラブユース交流試合(3月・東京・駒沢)
3. カンファレンス・その他
 - ・ラグビー文化の涵養、地域ラグビー普及(3月・徳島)
 - ・全国ユース会議(3月・東京)
福岡・神戸・北海道・神奈川・東京のユースクラブ関係者により、現状報告ならびにユースクラブの普及・発展の問題点等の討議を行った。
4. 女子ラグビー
 - ・関西ユース強化選手公募選考会を実施した。
4月27日(日) 大阪・花園ラグビー場
関西地区ユースの第3期生のセレクションを行い、13名が合格した。今後は月1度連盟コーチが指導し、女子選手の継続育成を行っていく。また女子中学生、高校生同士の試合への参加合宿等を行った。
 - ・九州ユース強化選手公募選考会を実施した。
5月18日(日)・31日(土) 福岡 さわやか広場
18名に体力測定などを行い、31日の試合を見てセレクションを実施し、8名が合格し、今後計画的に育成して行く。
 - ・サマーキャンプ(一般向け)を実施した。
7月20日(日)・21日(月) 辰巳の森公園ラグビー場
 - ・レフリー講習会を開催した。
女性レフリーの継続育成を目指し行った。
初心者から段階的に指導を行い、交流大会や地方大会さらに世界大会を目指して育成して行く。
 - ・ユース強化選手サマーキャンプを実施した。
8月5日(火)~7日(木) 長野・菅平高原
 - ・関東ユース コルツセレクションを実施した。
平成21年3月20日(金) 辰巳の森 公園ラグビー場

・その他・15人制・7人制ともに海外での大会参加に
じて練習、合宿を行った。

- ・各種女子フェスティバル・大会の主催・主管・後援
東北大会(9月27日・関伊川老木公園グラウンド)
関西大会(9月14日・瑞穂ラグビー場)
関西大会(10月19日)・京セラ八日市グラウンド)
関東大会(10月19日・26日・11月3日・熊谷)
- ・第21回女子ラグビー交流大会
11月23日(日) 東京 臨海球技場
- ・第2回ガールズラグビーフェスティバル
11月30日(日)・熊谷ラグビー場
- ・女子ラグビーフェスティバル in 駒沢
平成21年2月22日(日) 駒沢補助グラウンド
Japan Womens Sevens 2009
- 平成21年3月29日(日) 京都・宝ヶ池球技場
- ・女子連盟総会
6月29日(日)・日本協会 会議室

<海外遠征>

- ・アメリカ(サンディエゴ)強化遠征
平成21年2月10日~16日

<国際大会>

- アジア大会(15人制)
(カザフスタン・6月3日~7日)
前年に続き準優勝
- ・セブンズワールドカップアジア地区予選
(香港 10月4日・5日)
地区予選で優勝・セブンズワールドカップに出場
- ・香港セブンズ大会(21年3月27日・28日)
12ヶ国参加 6位
- ・セブンズワールドカップ
ドバイ 平成21年3月5日~7日・ボウル1回戦で敗退

5. トップリーグ事業委員会

1. 平成20年度入場者数 384,954名
前年比 120% (+65,388名)
1試合平均入場者数 109% (+5,202名)
2. 平成20年度新たに取り組んだ活動
 - ・外国人選手枠の拡大(オンザピッチ2名 3名)
 - ・IRB認定試験的实施ルール(ELV)の採用
 - ・日本選手権への出場枠の拡大(4チーム 6チーム)
 - ・TMOの導入(プレーオフトーナメント対象)
 - ・テクニカルシゾーン制の導入
 - ・キャプテン会議の発足(FOR ALL 普及活動推進等)
 - ・マン・オブ・ザ・マッチ表彰制度の発足
 - ・Try For Greenの発足8網走市へ125万の寄附)
 - ・For All チャリティーマッチの開催し、収益240万を2団体に寄附した。
大阪府みどり基金・脊髄基金
3. メディアへの積極的な告知活動の展開
TV広告料に概算すると(TLのみ対象：電通調べ)
 - ・2006年度実績 43,300,000円
 - ・2007年度実績 46,300,000円

・2008年度実績 151,500,000円
大幅増の内容は News での取り上げ増が最大要因となっ
ている。

6. 普及育成委員会

1. タグラグビー部門「小学校学習指導要綱解説」掲載
平成19年7月に文部科学省「小学校学習指導要綱解説・
体育編」において小学生3~4年生「ゴール型ゲーム」と
して内示。タグラグビーやフライングフットボールを基にし
た易しいゲーム(陣地を取り合うゴール型ゲーム)として
掲載される。これは日本の学校制度が確立した明治5年以
来初めて日本の教科書に「ラグビー」という単語が掲載さ
れた記念すべき出来事である。尚、この間として16年の
年月を47都道府県協会の普及育成委員の並々ならぬロビ
ー活動の結果である。
尚、本年より3年間を試験期間とし、この期間での成果に
より本採用となるか否かの境界期間である。故に、普及育
成委員会としても第一次期間の総括を行い、第二次期間計
画を作成して行く。
2. プロモーション事業
<はじめてのラグビーボール>
【本部】
 - ・本部「プロモーション事業参加賞「ランドリーバック」
日本協会各種イベントで4,900枚配布し、ラグビーの普
及に努めた。
 - ・本部「ラグビー普及宣言チラシ」を3,000枚作成し三地
域へ配布した。【関東協会】
 - ・「南相馬市・南双葉地区タグラグビー・フェスティバル」
福島県協会 平成21年1月25日 ナショナルトレニ
ングセンター
一般小学生150名 スタッフ15名 計165名参加
 - ・「タグフェスタ IN 多摩」東京都協会
平成21年3月15日 一ノ宮公園球技場
一般小学生150名 スタッフ20名 計170名参加【九州協会】
 - ・「はじめてのラグビーボール IN 久留米」福岡県協会
5月15日 福岡県立久留米陸上競技場
一般小・中学生200名 スタッフ50名 計250名参加
 - ・熊本県「初めてのラグビーボール」熊本県協会
7月5日 荒尾市運動公園サッカー場
一般小学生70名 スタッフ50名 計120名参加
 - ・「はじめてのラグビーボール in いさはや」
長崎県協会 11月1日長崎県立総合運動公園陸上競技場
一般小学生100名 スタッフ7名 計107名参加
 - ・「初めてのタグラグビー講習会 IN 沖縄」沖縄県協会
平成21年3月8日 沖縄県総合運動公園ラグビー場
一般小学生、一般100名スタッフ30名 計130名参加
参加者770名 スタッフ172名 計942名参加
3. 学校体育関連事業
 - ・本部「タグ・ラグビー用具」教材提供」日本協会
三地域協会 普及育成委員会タグ委員会への貸出用「タ

グ・ラグビー用具」各5セットの配備完了。

4. 中学生委員会

<会議、研修会関係>

【関西協会】

- ・「中四国ジュニアラグビー研修会」関西協会
8月30~31日 香川県営サッカー・ラグビー場
スクール指導者、インストラクター50名 計50名参加

【九州協会】

- ・「九州ジュニアインストラクター会議」九州協会
10月11~13日 熊本県民総合運動公園ラグビー場
ジュニアラグビーインストラクター6名 スタッフ3名
計9名参加 2地域で開催 計59名参加

<大会関係>

【関東協会】

- ・「第10回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー」
7月26~27日 菅平サニアパーク他
中学スクール生2000名 スタッフ100名 計2100名参加
- ・「第29回東北中学生ラグビー交流大会」山形県協会
8月16~17日 山形県総合運動公園 ラグビー場
中学スクール生300名 スタッフ50名 計350名参加
- ・「第2回東日本U15ラグビー大会
~中学生ラグビークラブ選手権~」関東協会
9月20~21日 水戸市 ラグビー場他
中学スクール生240名 スタッフ60名 計300名参加
- ・「第28回東日本中学生ラグビー大会」関東協会
10月13日~12月25日 秩父宮ラグビー場他
中学スクール生1000名 スタッフ400名 計1400名参加
- ・「東日本U15ジュニアラグビー選抜大会」関東協会
平成21年3月21日~22日 水戸市ラグビー場他
スクール・中学生700名 スタッフ50名 計750名参加

【関西協会】

- ・「第1回関西スクールジュニアラグビー交流大会」関西協会
6月28日~29日 兵庫県立淡路佐野運動公園
中学スクール生300名 スタッフ15名 計315名参加
- ・「第10回関西中学生ラグビージャンボリー大会」関西協会
7月25~27日 岐阜県 数河高原平成グラウンド
中学生・スクール生300名 スタッフ25名 計325名参加
- ・「中四国ジュニアラグビー交流会」関西協会
8月30~31日 香川県営サッカー・ラグビー場
スクール中学生200名 スタッフ50名計250名参加
- ・「第10回近畿スクールジュニア・ラグビー交流大会」
関西協会 :11月22日 天理親里球技場
スクール中学生200名 スタッフ30名 計230名参加
- ・「第14回全国ジュニア・ラグビー大会」日本協会
平成21年1月2~4日 近鉄花園ラグビー場
スクール・中学生352名 スタッフ110名 計462名参加
- ・「近畿ジュニア・ラグビー新人交流大会」関西協会
平成21年3月22日 天理大学白川人工芝グラウンド
スクール・中学生250名 スタッフ40名 計290名参加

【九州協会】

- ・「第9回ジュニアラグビー九州ブロック大会」九州協会
10月11~13日 熊本県民総合運動公園ラグビー場
スクール中学生200名 スタッフ20名 計220名参加

- ・「第10回九州ジュニアラグビー福岡・鹿児島宮之城ジャンボリー大会」

平成21年1月24日~3月1日 グローバルアリーナ他
スクール中学生900名 スタッフ60名 計960名参加
以上、3地域にて13会場で開催。

参加者6942名 スタッフ1010名 計7952名参加

5. 小学生委員会

<会議、研修会関係>

【日本協会】

- ・「平成20年度 全国普及育成指導者研修会」日本協会
9月13~14日 日本青年館他
都道府県指導者47名、スタッフ23名 計70名参加

【関東協会】

- ・「東北地区ミニラグビー指導者研修会」関東協会
11月8~9日 あずま総合運動公園
東北地区指導者70名、スタッフ10名 計80名参加
- ・「関東地区ミニラグビーインストラクター研修会」関東協会
平成21年1月10~11日 流通経済大学研修センター
関東甲信越地区一 研修生18名スタッフ5名 計23名参加
- ・「関東地区ミニラグビー指導者研修会」関東協会
平成21年1月31日~2月24日 リコー東松山
関東甲信越指導者130名、スタッフ15名 計145名参加

【関西協会】

- ・「四国ラグビースクール協議会夏季研修会」関西協会
8月2~3日 土佐町 おこぜハウス(町民グラウンド)
スクール指導員 計25名

【九州協会】

- ・「ミニラグビーレフリー研修会」大分県協会
7月19~21日 久住スポーツ研修センター
スクール指導者15名、スタッフ4名 計19名参加
- ・「ミニ・ラグビー指導者研修会」佐賀県協会
7月20日 佐賀勤労者総合福祉センター
スクール指導者20名、スタッフ10名 計30名参加
- ・「ミニラグビー指導者講習会」熊本県協会
9月27日 玉名グリーンベルトラグビー場
スクール指導者30名、スタッフ10名 計40名参加
- ・宮崎県「宮崎県ミニラグビー指導者講習会」宮崎県協会
7月20日 青島少年自然の家
スクール指導者40名 スタッフ10名 計50名参加
3地域 9会場で395名 スタッフ87名 計482名参加

<大会関係>

【日本協会】

- ・「ラグビーマガジンMicrosoft CUP ミニラグビー交流大会」
平成21年2月8日 秩父宮ラグビー場
3地域代表 スクール小学生5・6年生45名 コーチ6名
計51名参加

【関東協会】

- ・「菅平ミニラグビー・ジャンボリー交流大会
及びBBM杯ミニラグビー交流大会」関東協会
7月20~21日 菅平サニアパーク
スクール小学生800名、スタッフ50名 計850名参加
- ・「第20回北海道ラグビースクール小学生大会」北海道協会
9月27~28日 野幌総合運動公園ラグビー場

スクール小学生 280 名、スタッフ 70 名 計 350 名参加
・「第 8 回東北小学生ラグビーフットボール交流大会」宮城県協会 10 月 25 日 女川町総合運動場

スクール小学生 300 名、スタッフ 50 名 計 350 名参加
・「西関東甲信越ミニラグビー交流大会」関東協会
11 月 3 日 八王子市上柚木陸上競技場
スクール小学生 500 名、スタッフ 50 名 計 550 名参加

・「東関東ミニラグビー交流大会」関東協会
11 月 3 日 江戸川区河川敷グラウンド
スクール小学生 600 名、スタッフ 50 名 計 650 名参加

【関西協会】

・「第 2 回関西ミニ・ラグビージャンボリー大会」関西協会
6 月 28～29 日 兵庫県立淡路佐野運動公園
スクール小学生 500 名、スタッフ 40 名 計 540 名参加

【九州協会】

・「ラグビーマガジン CUP 第 35 回九州少年ラグビー交歓会(ジャンボリー)」九州協会

8 月 15～17 日 国立阿蘇青少年交流の家 グラウンド
小学生スクール生 470 名、スタッフ 30 名 計 500 名参加

・「第 9 回西九州ミニラグビー交流大会」九州協会
9 月 23 日 ベストアメニティストジアム
小学生スクール生 1030 名、スタッフ 20 名 計 1050 名参加

・「第 9 回東九州ミニラグビー交流大会」九州協会
11 月 2 日 鹿児島県立高校吉野合同グラウンド
小学生スクール生 400 名、スタッフ 24 名 計 424 名参加

・「第 8 回南九州ミニラグビー交流大会(鹿屋カップ)」九州協会
平成 21 年 2 月 8 日 鹿屋市いこいの森グラウンド
小学生スクール生 200 名、スタッフ 25 名 計 225 名参加
以上、3 地域 11 会場で開催
参加者 5131 名 スタッフ 409 名 計 5540 名参加

6. タグ委員会

<会議、研修関係>

【本部】

・第 5 回全国小学生タグラグビー選手権記録映像撮影
* デジタル記録収録。

【関西協会】

・大阪府「近畿ブロック タグ・ラグビー講習会」関西協会
12 月 6 日 近鉄花園ラグビー場
指導者 40 名 スタッフ 10 名 計 50 名参加

【九州協会】

・「九州ラグビー協会普及育成委員会 TRI 研修会」九州協会
7 月 5～6 日 鹿児島市立星峯西小学校他
委員会委員 13 名 計 13 名参加

・福岡県「九州ラグビー協会タグラグビーインストラクター研修会」九州協会
10 月 11～12 日 福岡フットボールセンター
指導者 17 名 スタッフ 3 名 計 20 名参加
以上、2 地域 3 会場で開催
参加者 70 名 スタッフ 13 名 計 83 名が参加

<大会関係>

【日本協会】

・「サントリーカップ第 4 回全国小学生タグラグビー大会」

9 月～平成 21 年 2 月 都道府県大会・ブロック大会
平成 21 年 2 月 15 日～16 日 決勝大会 秩父宮
小学生 4 年生～6 年生 計 9761 名(1149 チーム)参加

【関東協会】

・「第 11 回タグラグビー - 東北大会」山形県協会
7 月 20 日 すば-ていあ
一般小・中学生、一般 120 名 スタッフ 20 名 計 140 名参加

【九州協会】

・「タグフェスタ IN 大分」大分県協会
5 月 17 日 大分スポーツ公園ストークグラウンド
一般小・中学生、一般 150 名 スタッフ 10 名 計 160 名参加

・「タグフェスタ IN 佐賀」佐賀県協会
5 月 24 日 佐賀市健康運動センター グラウンド
一般小・中学生、一般 120 名 スタッフ 15 名 計 135 名参加

・「アビスパ福岡タグラグビーフェスタ」福岡県協会
10 月 12 日 アビスパ福岡 福岡フットボールセンター
一般小学生 200 名 スタッフ 0 名 計 230 名参加

・「県民スポーツの日タグラグビーくまもと大会」熊本県協会
10 月 13 日 熊本県民総合運動公園陸上競技場
一般小学生 500 名 スタッフ 55 名 計 555 名参加

・「タグラグビーフェスタ IN 鹿児島」鹿児島県協会
10 月 13 日 鴨池緑地公園球技場
一般小学生 150 名 スタッフ 20 名 計 170 名参加

・「タグフェスタ in 沖縄」沖縄県協会
10 月 19 日 金武町菅グラウンド
一般小・中学生、一般 400 名 スタッフ 100 名 計 500 名参加

・「タグフェスタ in 宮崎(日向大会)」宮崎県協会
10 月 25 日 サンドーム日向
一般小・中学生、一般 200 名 スタッフ 10 名 計 210 名参加

・「タグフェスタ in 大村」長崎県協会
11 月 2 日 長崎県立放虎原ラグビー場
一般小学生 50 名 スタッフ 10 名 計 60 名参加

以上、3 地域 10 会場で開催。
参加者 11651 名 スタッフ 270 名 計 11921 名参加。

7. その他

・各活動報告等については日本協会 HP で公開
・「ラグビーしようよ！」ポスターを各地配布する。

7. 国際委員会

<重点事項>

ワールドカップ日本招致活動を視野に入れた海外とのネットワーク作り

<重点活動>

1. 海外への情報発信の強化

IRB 理事国、アジア協会理事国、各国のメディアなど 3000 名に対し、英文定期ニュース“On The Move”を送付および配信(2008 年 9 月、2009 年 1 月、2 月)

英文の「JRFU ハンドブック」(2009 年版)の制作と配布
1500 部作成。2009 年 3 月のアジア協会理事会より配布を開始

英文ホームページの内容充実、海外メディアの活用

- 現在、月間1万アクセス(平均)
2. 海外との窓口(コンタクトパーソン)の増加
多くの日本協会関係者が海外と交流できるための機会を増加させた。
ジュニアワールドチャンピオンシップ(ウェールズ大会・6月)視察 蓮沼・稲垣・中里・熊木・桑野・香川
パシフィックネーションズカップ代表者会議
(シドニー・7月) 太田・岩本・松尾
ブレディスローカップ視察(香港・11月)佐藤・三好
IRB主催「エイジグループ会議」(ロンドン・11月)中里
アジア5か国対抗ワークショップ
(香港・12月)蒲生・比嘉
 3. 事務局スタッフのバイリンガル化
4月より、14名の事務局スタッフが週に1回の英会話クラスを受講させた。
 4. ワールドカップ招致活動の基盤づくり
招致活動のための以下の組織の設置
招致実行委員会(9月)
招致事務局(9月)
招致委員会(3月)
 5. アジアでのリーダーシップを取るための各種活動
アジア協会執行委員会(EXCO)への参加(真下・徳増)
アジア協会・トーナメント委員会の設置(委員長・徳増)
アジア協会でのワールドカップ招致プレゼンテーション(2009年3月・ドバイ)
香港協会・シンガポール協会との会議(香港・2009年3月)
- <一般項目>
1. IRB 関連
IRB 議事録管理
IRB 通達およびリリース翻訳および管理
(特に ELV 関連の翻訳・ルーリング関連翻訳・規約翻訳など)
IRB の各種規定の整理
IRB および IRB 理事国との諸連絡
(日本協会より競技規則改定に関する提案を送付)
 2. アジア理事会関連
アジアラグビー協会議事録管理
アジア協会および理事国との諸連絡
アジア協会への支援活動
 3. 国際試合関連業務
国際試合のスケジュール管理
国際試合および海外チーム受け入れ業務
・アジア5か国対抗受け入れ(4~5月)
・クラシック・オールブラックス受け入れ(4~5月)
・フランス大学・フランスU18受け入れ(7~8月)
・アメリカ代表受け入れ(11月)
・2009年度国際事業の受け入れ準備
リエゾンオフィサーの育成および運営
IRB サイティング・ジュディシャルオフィサーセミナーの開催(9月)
 4. 国際関連一般業務
海外VIP来日対応
・ニュージーランド協会CEOチュー氏(5月)
・フランス協会ローレン副会長(7月)

- ・アメリカ協会レイサム副会長(11月)
- ・韓国協会チョイ会長(11月)
- クリアランスおよび海外遠征許可関連

8. 競技力向上委員会

(1) ATQ プログラム関係

- ・4月~7月: 海外派遣(NZ: ワイカト、豪州: NSW) 5名の選手を派遣
- ・4月18日~21日: 第1回アカデミー合宿
日本エアロピクスセンター 選手28名参加
- ・5月18日~21日: 第2回アカデミー合宿
辰巳の森海浜公園ラグビー練習場 選手34名参加
- ・7月6日~10日: 第3回アカデミー合宿
辰巳の森海浜公園ラグビー練習場 選手24名参加

<日本選抜>

- ・7月10日: フランス大学選抜戦 国立競技場
日本選抜20-19 フランス大学選抜

<U17 ブロックトレーニング>

- ・北海道地区 5月3日~5日 北見市
- ・東北地区 7月4日~6日 青森県大鰐町
- ・関東地区 6月27日~29日 群馬県前橋市
- ・北信越地区 6月27日~29日 長野県菅平高原
- ・東海地区 6月27日~29日 愛知県春日井市
- ・近畿地区 6月6日~8日 奈良県天理市
- ・中国地区 H21年3月20日~22日 鳥取県
- ・四国地区 H21年3月14日~15日 愛媛県久万高原
- ・九州地区 H21年3月20日~22日 大分県湯布院
- ・7月22日~25日 U-17 全国高校合同チーム大会開催
長野県菅平高原

<ルール関連>

- ・ELVの検証並びに検討を他部門と連携し対応した。

<U20 代表関連>

- ・2008JWC ウェールズ大会に向けたセクション並びに強化活動を代表事業委員会と連携し対応した。
- ・2009JWC 日本大会に向けたセクション並びに強化活動を代表事業委員会と連携し対応した。

(2). ルール部門

- ・レフリー部門とELVの検討会の実施
- ・ELVの各チームへの徹底
- ・ELVの採用結果のとりまとめとIRBへの提案
- ・ルールの分かりやすい説明・啓蒙活動
特にELVのRUGBY(機関誌)・ホームページ等で解説
- ・レフリー部門との連携強化

(3). レフリー部門

1. 春季研修会(2回)
 - 4月26日(土)~27日(日) 東京・秩父宮にて開催
参加者 部門委員11名 レフリー11名
研修内容 07-08シーズンの総括、08-09指針・方針説明
2. レフリー研修会(トップレフリー)
 - 8月1日(木)~4日(日) 北海道・網走
参加者 部門委員13名 レフリー17名 参加

- 研修内容：IRB マッチプロトコルについての確認・
 ・ELVの正確な適用と対処（DVD 検証とレフリー基準の統一）・実技研修及びコーチセッション・メンタルレーニング（外部講師による特別セッション）
 （仙台大学スポーツ情報マスメディア学科 准教授栗木 一博先生）
- ・スクラムセットについて（薫田・U-20 監督）
 - ・トップリーグ事業委員会の 2008-09・シーズンの取り組みの説明（稲垣 TL・COO）
 - ・国際環境についてのプレゼン（ジョージエイコ氏）
3. 三地域研修会
 8月22日（金）～25日（月）菅平 開催
 三地域研修会参加者 部門委員 15名 レフリー34名
 研修内容 ELV 対応（ワークショップ）・2008 年度に向けた DVD 検証・IRB 通達事項に関するレフリング基準・レフリングの統一事項とサポート体制確認・実技・実技のコメント（各担当コーチ）・フットネステスト
- ・秋季・トップレフリー研修会 10月5日（日）秩父宮にて開催 参加者 部門委員 10名
 研修内容 IRB マッチプロトコルの検証及び基準確認
 - ・11月23日（日）・日本青年館にて開催
 参加者 部門委員 14名
 研修内容 TMO 関連 TL 事業部 福本正幸氏・2008 前半節総括、映像及びスタッツ分析、後半節に向けて・IRB マッチプロトコルについての確認・新規 A1 レフリーのシーズンレビュー（河野 哲彦レフリー）
4. レフリーアカデミー事業 大阪・東京にて 15 回開催
 参加者 部門委員 2名 レフリー5名
 研修内容 実技・講習会
- ・海外派遣（AUS に 2 名小堀、橋元）
 - ・日本サッカー協会アカデミー生と合同研修会（2 回実施）
4. 海外招聘レフリーコーチ研修
 ・全国高校大会研修会
 12月29日（月）～1月3日（土）大阪・花園にて開催
 参加者 部門委員 23名 研修内容
 AUS テリーオコーナー氏を講師で招き実技レビューを行う・パフォーマンスレビューによる次試合レフリー選抜方式について・DVD 使用しコーチングポイントのレビュー
- ・全国高校選抜大会研修会
 3月31日（月）～4月3日（木）埼玉・熊谷で開催
 参加者 部門委員 11名 レフリー12名
 会議内容 実技レビュー・安全対策等について
5. 部門会議（年間 6 回開催）
- ・4月26日（土）～27日（日）東京・秩父宮で開催
 参加者 部門委員 11名
 会議内容 レフリー研修会内容と同じ
 - ・7月13日（日）秩父宮 開催 参加者 17名
 会議内容
 08-09 日本協会公認（A,A1）について・A2 レフリー認定について・2008 レフリング指針の説明・ELV 関係質問
 夏季研修会（北海道 TOP 研修会、3 地域研修会）
 - ・10月5日（日）東京・秩父宮にて開催
 参加者 部門委員 10名
- 会議内容 レフリー研修会内容と同じ
 ・11月9日（日）東京・代々木倶楽部にて開催
 参加者 部門委員 11名
- 会議内容
 U-18（高校生）のモール引き倒しの制限について・Jr ワールドカップ 2009 開催について・レフリー育成システムの構築について・日本協会公認レフリーへの公認方法について・各種全国大会のレフリー割り当てについて・レフリー交流について
- ・11月23日（日）東京・日本青年館にて開催
 参加者 部門委員 14名
 会議内容 レフリー研修会内容と同じ
6. レフリー秋季交流派遣・冬季交流派遣
 対象者 部門委員 3名 レフリー 三地域 3名
 三地域間 1 試合担当。
7. U20 大会（6月・ウェールズ）平林レフリーを派遣
 8. アジア大会・その他アジア関係派遣費
 国内外 13 試合派遣
9. アジアパネルレフリー研修会関係
 4月18日～21日タイランドにて開催
 参加者 部門委員 1名 レフリー4名
 会議内容 大会に向けて[On Field での問題]について
10. IRB レフリーコーチ研修カンファレンス
 2月18日～21日ロンドンにて開催
 参加者 部門委員 1名（岩下）・サポート溝畑潤
11. 海外レフリーコーチ受入
 ・5月＝アジア 5 ネーション
 ・6月＝パシフィックネーションズ
 ・8月＝北海道研修（ジョージエイコ）
 ・12月＝高校大会研修（テリーオコーナー）
12. 海外レフリー受け入れ
 ・5月＝アジア 5 ネーション・CABS 戦
 ・6月＝パシフィックネーションズ
 ・11月＝JAPAN テストマッチ
13. IRB マニュアル整備＝IRB レベル 2 作成
 14. 備品関係（U シーパー等）＝新規 A1 レフリー配布 5 名
 15. 資料ビデオ作成・エンブレム・DVD・等に対応
- (4) メディカルコミッティ部門
1. 総会
 4月5日に平成 20 年度分の総会を開催（日本協会会議室）
2. 安全推進講習会開催（全国医務委員長ほかを対象）
 1月17日 日本青年館
3. 3 地域連絡協議会 10月12日 日本協会会議室
4. 日本協会主催試合医務担当
 ・マッチドクター、メディカルコミッショナーの派遣
 ・来日外国チームへのメディカルサポート
 ・高校東西対抗出場選手メディカルチェック
5. 日本代表医務担当の決定
6. 帯同ドクターの派遣
 日本代表、U23 代表、U20 代表、高校代表
7. 7 人制代表へのメディカルサポート
8. トップリーグ・メディカルコントロール部会

- ・第1回総会 7月6日 日本協会会議室
- ・第2回総会 3月20日 日本協会会議室
- 9. 日体協事業への協力
 - ・スポーツドクター代表者会議出席 2月16日 岸体育館
 - ・公認スポーツドクター要請講習会受講者推薦
- 10. JISS, JADA との連携
- 11. 安全推進本部との連携
 - ・安全推進本部会議の開催(5月11日、6月29日、9月13日、12月21日)
 - ・重傷事故分析班への協力(会議開催:4月20日、8月24日、1月18日)
 - ・タックルDVDの作成協力
 - ・安全推進本部のためのキャンペーン実施
- 12. JWC2009 開催に向けた準備活動
 - ・全体会議の開催(1月18日)及び、地域協会メディカル委員会との連携推進
- 13. ドクターフィーの改善に向けた会合の開催(2月15日)

(5) 科学部門

競技力向上委員会・ATQ2008 活動支援を企図し以下の事業を実施した。

1. ELV 影響分析
 - ・トップゲーム構造に及ぼすELV影響要因研究および提示(トップコーチ会議、九州・関西・関東トップコーチ会議7月)
 - ・U20 強化支援(2月:鹿児島)
2. トップゲーム分析
 - ・トップリーグ分析(分析方法検討:5-8月:集計及び分析9-3月) 2003-2008 縦断分析。
3. 発信
 - ・ATQ-AIR ニュース発信:2009年3月現在(190News:国際委員会連携活動) 2008年3月時点157News
 - ・ラグビー科学研究:20号(1)発刊12月
 - ・国際スポーツパフォーマンス学会発表(9月)ワールドカップゲーム構造、トップリーグ構造
 - ・日本体育学会発表(9月)
 - ・国立スポーツ科学センター・日本オリンピック委員会共催「日本ラグビー協会における情報戦略活動」、国立スポーツ科学センター・日本オリンピック協会・スポーツのための映像技術講習会カンファレンス基調講演、(JISS, 2月、東京),
4. 連携
 - ・コーチ部門:トップコーチ会議
 - ・フットボール学会:シンポジウム司会およびシンポジスト支援(萩本光威氏への支援)

(6) トレーナー部門

1. 競技力向上現場へのトレーナー派遣
 - ・代表事業部トレーナー推薦(山本、木村、原)
 - ・U-20 日本代表ヘトレーナー派遣(大石、森口、滝田)
 - ・高校代表事業へのトレーナー派遣(吉田)
2. トレーナーセミナー開催
 - ・第5回JRFU トレーナーセミナー開催

2009年3月22日(日)~23日(月)

於:筑波大学東京キャンパス茗荷谷校舎参加者:20名

3. 教育・啓発関連活動

- ・第4回JRFU トレーナー研修会

2009年3月22日(日)

於:筑波大学東京キャンパス茗荷谷校舎

「安全推進講習会」安全対策推進本部

「選手のトレーニングとは」谷川 聡氏(筑波大学)

参加者:26名

- ・大会のトレーナーに対する意識調査アンケート実施

- ・全国大会におけるトレーナー活動実態調査

4. ホームページ及び関連機関誌を通じて医・科学情報の発信

- ・セミナー・研修会案内の発信

5. その他

- ・日本体育協会アスレチックトレーナー協会推薦者選出、推薦作業(山本(代表事業部)、木村(代表事業部)、須藤)
- ・安全推進講習会参加

(7) コーチ部門

1. 指導者育成

強化コーチ養成講習会 7月21日~26日 東京

育成コーチ養成講習会 7月~11月千葉、愛知、東京

新スタートコーチ養成講習会の開催(全国31会場)

トレーナー養成講習会 平成21年3月14・15日 東京

各種講習会へのコーチ派遣

三地域トップコーチ会議 7月

2. 研修会開催

トップチームゲーム会議 7月13日 東京

トップチームコーチ資格取得研修会

11月20日~23日 東京

ブラッシュアップ(義務化に伴う再研修)研修会 25箇所

三地域都道府県委員長会議 2月22日 大阪

3. コーチング研究

IRB コーチ養成に関する会議への参加

平成21年2月16日~21日 ロンドン

指導教材の開発 育成コーチ、新スタートコーチ

4. コーチング出版関連

講習会用マニュアルの作成

トップチーム・強化・育成・新スタートコーチ

講習会・研修会用ポスターの作成

トップチームコーチ会議 7月

5. 会議開催

- ・部門全体会議 5月28日

- ・部門内小会議 6月4日、6月22日、7月5日

6. コーチ資格義務化に伴う事業

- ・有資格者登録管理システムの構築

(8) インテグレート部門

- ・安全推進本部と連携し安全推進本部会議の運営、安全推進講習会の実施、DVDの作成等

- ・ユース部門と共にU17 ブロックトレセン、[High School Rugby Skill up Camp IN 菅平]実施、運営

- ・高体連ラグビー専門部主催の指導者研修会での講演

- ・ELV ルールの検討
- ・スクラムプロジェクトの継続的推進活動

(9) 高等学校部門

1. 部会の開催

全国高体連ラグビー専門部全国会議

4月12日(土)常任委員会 13日(日)専門委員長会

東京：ホテルフロラシオン青山

12月25日(木)常任委員会 26日(金)専門委員長会

大阪：ホテルクライトン新大阪

競技力向上委員会高校部門会議 10月5日(日)大分由布市

2. 全国高体連関係

4月24日(木)総体中央委員会(東京)

5月27日(火)評議委員会(東京)

9月25日(木)総体中央委員会(奈良)

11月17日(月)部長・委員長会(東京)

3月3日(火)評議委員会(東京)

3. 大会関連

第9回全国選抜大会 4月1日(火)~7日(月)

埼玉：熊谷ラグビー場で開催 26チーム 参加

優勝 常翔啓光学園高校(36-21)御所工業・実業高校

ジャパンセブンズ2008 高校の部

4月12日(土) 東京：江戸川 陸上競技場で開催

カップ優勝 九州・プレート優勝 近畿・ポウル優勝 関東

MVP 九州 柏田 裕紀(延岡工業高校)

サニックス2008 ワールドラグビーユース交流大会

4月29日(火)~5月5日(月) 宗像市：グローバルアリーナ

優勝 グレンウッド ハイスクール(南アフリカ)

第4回全国高等学校合同チームラグビー大会

7月22日(火)~25日(金)長野 菅平高原サニアパークで開催

優勝=U17・カップ 近畿・プレート東北・ポウル東海

優勝=U18・カップ 近畿・プレート関東・ポウル 東海

第63回国民体育大会

10月3日(金)~7日(火) 少年の部 大分・由布市で開催

優勝 福岡(36-22)大分

第88回全国大会

12月27日(土)~平成21年1月7日(水)

大阪：花園ラグビー場

優勝 常翔啓光学園高校(24-15)御所工業・実業高校

第39回全国高専大会

平成21年1月4日(日)~9日(金)

兵庫 神戸総合運動公園ユニバー競技場

優勝 神戸市立工業高専(27-0)奈良工業高専

第32回高校東西対抗

平成21年1月11日(日)東京：秩父宮ラグビー場

東軍(55-26)西軍

第1回U18合同チーム東西対抗戦

平成21年1月7日(水)大阪：花園ラグビー場

東軍(36-34)西軍

4. 強化指導

高校日本代表選手の選抜

中日本・西日本 合宿：5月23日(金)~5月26日(月)

東日本 合宿：6月27日(金)~6月30日(月)

日仏交流150周年 U18 フランス代表来日

7月29日(火)日本(5-55)フランス

8月1日(金)日本(10-28)フランス

第32回高校東西対抗 平成21年1月11日(日)

U17 ブロックトレセン

全国9ブロックで開催

5. 普及指導

合同チーム交流大会兼第29回普及指導講習会

平成21年3月(北海道は5月開催済み)

全国9ブロックで開催

スキルアップキャンプ2008

7月28日(月)~30日(水)長野県：菅平

6. 第33回高等学校指導者研修会

平成21年1月9日(金)~11日(日)

東京：日本青年館

全国9ブロックから2名の参加、研究発表と講演、大学選手権決勝の観戦

7. 高校海外交流

高校日本代表海外遠征

直前合宿：平成21年3月14日(土)~16日(月)

イングランド遠征：平成21年3月17日(火)~30日(月)

第16回日韓中ジュニア交流競技大会

8月23日(土)~29日(金) 日本：千葉県

日本(57-10) 韓国

日本(93-09) 中国

8. 高校ルール検討委員会

ELV モールの引き倒し等に関する検討

9. 安全対策

重傷事故の撲滅

10. その他

高校部員登録人数を3万人台に回復するように普及活動に努めた。

9. 日本代表事業委員会

各種大会・遠征等 国際大会・海外遠征関係を参照

1. 15人制日本代表

・アジアン5ネーションズカップ 優勝

2. パシフィック・ネーションズカップ 5位

3. リボピタンDチャレンジマッチ

・アメリカ代表に2連勝

4. 代表選手居場所管理の徹底を図った

5. U20 日本代表

・第1回JMC 16チーム 15位でデビジョン1に残留

6. セブンズ日本男子代表

・ワールドカップアジア予選で優勝

・ワールドカップ(ドバイ)出場

・ワールドシリーズUSA・香港・アデレード各大会に出場

7. 15人制女子日本代表

アジア大会に出場(6月3日~7日 カザフスタン)

昨年に続き、準優勝

8. セブンズ女子日本代表

・ワールドカップアジア予選で優勝

- ・ワールドカップ(ドバイ)に出場
ポウルトーナメント 準々決勝で敗退
- ・セブンズ女子香港大会に出場
6位(12カ国参加)

特別委員会

1. 安全推進対策本部

- 各委員会と連携し、横断的組織として活動した。
- 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行った。
- 重症事故の再発を防止し、重症事故撲滅を図るべく重症事故分析班を中心に発生事故に対する調査・分析・研究を行った。
- チーム責任者等に『重症事故撲滅対策』の意識付けを行い、チーム内においてチームの責任者が事故撲滅の啓発活動の牽引役を担い自ら事故撲滅・安全推進活動を展開できる組織的なサポートを実行した。
- 「安全推進講習会」の開催により、「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及」の徹底を図った。
「Rugby Ready」の活用を促した。
安全推進講習マニュアルDVDの作成し、配布した。
講習会講師としてのトレーナーの育成を行なった。
- チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施した。
- 09年度に向け、新たな施策を検討した。

1. 安全対策委員会

- 普及・啓発活動
外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的実施
重症事故対策本部と連携し、重症事故の撲滅に努めた。
高校委員会を通して高校生のプレーヤー向けにDVDの作成と配布を行った。
- 調査・検討
1989年からの重症事故データの継続的集計・分析
重症傷害報告書、1ヶ月後経過報告書及び2ヶ月後経過報告書を提出する体制の組織強化
重症傷害者に関するアフターケアの方向性模索
- 研修会開催
全国安全対策委員長会議
日本協会としての安全対策に対する方向性・通達事項を各都道府県単位の安全対策講習会に向けた伝達をすると共に各都道府県安全対策委員長を招集し徹底を図った。
昨年度まで各三地域において開催を一本化した。
<具体的な取り組み>
6月に全国の安全対策委員長会議を開催した。(東京)
2月に次年度へ向けての伝達講習会を行う。全国安全対策委員長会議を開催した。(東京)
- スキルアップ研修会
8月初旬、菅平において高校生及びその指導者を対象とし

- た講習会に講師を派遣した。
- 5. 各都道府県安全対策研修会の実態把握を行った。
- 6. メディカルサポーター管理
メディカルサポーターの養成・管理の充実を図った。
都道府県でのメディカルサポーターの養成状況を調査
メディカルサポーター管理に関する認定証・手帳等の補充を行った。
メディカルサポーター更新のための講習会を開催した。
- 7. 安全対策委員会の開催
重症事故対策本部との連携により全国安全対策委員長会議を6月に開催するため、5月に第1回委員会を開催、また今年度の事故の傾向の分析と次年度への対策を含めた会を1月に開催
- 8. 連携
医科学部門・ルール部門・コーチ部門・高校部門・重症事故対策本部との連携を一層強化して、外傷・障害の減少対策を図った。

3. アンチ・ドーピング委員会

- ドーピング検査
JADAと協力して、国内主要試合において、32試合128検体の競技検査を実施した。1例でドーピング違反あり、制裁が科された。
また、検査対象者登録リストの居場所情報管理に対する助言を行った。
- ドーピング防止に関する情報提供
開催要望のあったトップリーグチームにおいて、委員会委員が講師となって、JADA作成教育用DVDと委員会で作成したPowerpoint資料を用いて、アンチ・ドーピング講習会を実施した。
また、禁止薬物に関する問い合わせや治療目的使用に係る除外措置申請に関する問い合わせに対応した。

4. 監査委員会

- 地域協会の会計監査を下記の日程で実施し、実施内容については監事に報告した。
- 平成21年1月24日 関西協会
平成21年2月8日 関東協会

5. 人事委員会

- RWC招致・JMC準備等々で、新規に中途採用する場合は事前に、人事検討会に申請することを各委員長に通達した。
- 現行人事制度・賃金体系を採用して、2年目を迎え、運用が正しくなされているかどうかについて課題も生じているので、その調整に入った。(今年度に跨がって)

6. 施設環境整備委員会(特別委員会)

- 秩父宮ラグビー場西スタンドの改修工事に協力した。
西スタンド改修計画の基本プラン(協会案)の作成

6月～7月

- (独)日本スポーツ振興センターとの打ち合わせ
- ・8月予算・決定 ・平成21年1月告示・業者決定
- ・平成21年2月より工事開始
- ・平成21年5月29日工事完了予定

2. RWC 招致計画書の試合会場(案)に協力した。

九州ラグビーフットボール協会

各委員会は次の事業を実施した。

1. レフリー委員会

- ・各県委員長会議：6月17日:宮崎 12月15日:福岡
平成21年2月17日:熊本
- ・九州地区トップレフリー研修会(8月・湯布院)
- ・九州地区B級レフリー研修会、認定講習会(8月・筋湯)
- ・各種大会へのレフリーの派遣・各県試合会場
- ・九州各県トップレフリー交流研修及び派遣(4月～3月・各県)

2. 社会人委員会

- ・第46回木元杯7人制大会(4月6日・福岡)
優勝 Aパート 福岡サンニクス Bパート 山形屋
- ・第28回国体ブロック大会(8月16日～19日・宮崎)
決勝 福岡県(24-20) 長崎県
- ・第37回トップキュウシュウリーグ戦(9月～12月各地)
Aリーグ 1位 マツダ 2位 三菱重工長崎
Bリーグ 1位 鹿児島銀行 2位 三菱自動車水島
- ・トップキュウシュウリーグA・B入替戦(12月 福岡)
東芝大分(降格)(17-21) 三菱自動車水島(A復帰)
安川電機(降格)(10-43) 鹿児島銀行(A初昇格)
- ・トップリーグチャレンジマッチ(1月・広島、東京)
1位Gr マツダ(25-60) ホンダヒート
マツダ(0-81) リコー
2位Gr 三菱長崎(24-20) 豊田自動織機
三菱長崎(0-124) NTTコミュニケーションズ
- ・トップ九州リーグ代表者会議(平成21年2月・福岡)

3. クラブ委員会

- ・第27回九州感大会(6月21、22日・長崎)
- ・第4回九州トップクラブリーグ(9月～12月・各地)
Aグループ 1位 帆柱ク 2位 ウルトラマンク
Bグループ 1位 かぶと虫ク 2位 熊本サンデーズ
- ・九州トップクラブリーグB入替戦(12月 福岡・熊本)
吉四六(残留)(14-13) シーサー
鹿児島サンデー(降格)(0-94) 玄海 TANGAROA(B昇格)
- ・第34回全九州クラブ・実業団大会
(11月15、16日・鹿児島・決勝福岡)
決勝 玄海 TANGAROA(31-5) 日本特殊陶業
- ・各県委員長会議開催(6月・福岡、11月・鹿児島)

4. 大学委員会

- ・学生強化およびリーダー講習会(5月23日～25日・福岡)
- ・第47回九州商経大学大会(6月14日～17日・佐賀)
決勝 九州共立大(85-15) 鹿児島大
- ・第58回九州地区大学大会(6月28日～7月2日・鹿児島)
決勝 福岡大学(57 14) 志学館大学
- ・第16回九州学生リーグ(9月～12月・福岡他)
1位 福岡大学・福岡工業大学(両校優勝)
- ・第8回九州地区対抗大学大会(11月15日～18日・大分)
決勝 琉球大(52 10) 立命館アジア太平洋大
- ・学生リーグ入替戦(12月7日・福岡 沖縄)
部 九州産業大(残留)(19-19) 西南学院大
部 鹿児島大(降格)(12-32) 日本文理大(昇格)
部 北九州市立大(降格)(38-43) 立命館アジア太平洋大
(昇格)
部 沖縄国際大(降格)(17-40) 琉球大(昇格)
- ・各県委員長会議開催(7月・12月・福岡)

5. 高専委員会

- ・高専チームリーダ講習会(4月4日～4月6日・八代)
- ・第17回九州高専新人大会(5月10日～11日・福岡)
15人制 佐世保(優勝)(5-0) 久留米
7人制 有明(優勝)(17-12) 都城
- ・各県委員長会議開催(11月・北九州)
- ・第45回九州高専大会(11月15日～18日・北九州)
優勝 久留米高専(32 19) 佐世保高専

6. 高校委員会

- ・関東高校選抜交流戦(4月12日・東京)
九州高校代表(33-19) 全関東高校代表
- ・2008 ワールドユース交流大会(4月29日～5月5日・福岡)
- ・第61回全九州高校大会(6月14日～17日・熊本)
1位Gr 決勝 東福岡(42 8) 長崎北
2位Gr 決勝 筑紫(51 3) 熊本西
- ・第28回国体ブロック大会(8月16、18日・宮崎)
Aブロック 決勝 佐賀県(26-0) 宮崎県
Bブロック 決勝 福岡県(38-20) 鹿児島県
- ・第88回全国大会各県予選(9月～各県)
- ・2009 ワールドユース交流大会予選会
(平成21年1月2～5日・福岡)
決勝 常翔学園(4-9) 天理 両チームが本大会出場
- ・第31回全九州高校新人大会
(平成21年2月21日～24日・佐賀)
1位Gr 決勝 東福岡(43-8) 大分舞鶴
3位戦 長崎南山(48-5) 鹿児島工業
2位Gr 決勝 筑紫(45-12) 荒尾
- ・その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議
- ・第2回クラブユース交流戦(平成21年3月11日・福岡)
福岡ユース(10-49) 神戸 SCIX ユース
- ・九州地区高校普及指導講習会 10人制大会
(平成21年3月21日～22日・宮崎)

7. コーチ委員会

- ・新スタートコーチ養成講習会 (10箇所・各県)
- ・九州協会トップチームコーチ会議(7月20日・福岡)
- ・育成コーチ養成講習会(7月・福岡)
- ・各県委員長会議(4月、12月)

8. 中学生委員会

- ・第21回新島旗九州中学校大会(8月3日~5日・鯛生)
 - Aパート 決勝 百道中(34-12)三和中
 - Bパート 決勝 長丘中(24-12)岩屋中
- ・第30回新島杯九州ジュニア大会(8月1日~3日・鯛生)
 - AGr 決勝 鞘ヶ谷RS(31-26)りんどうYR
 - BGr 決勝 草ヶ江YR(75-0)ぶんごYR
- ・第9回九州ジュニア・ラグビー大会(10月11日~13日・熊本)
 - 決勝 福岡県(48-0)長崎県
- ・第12回全国ジュニアラグビー大会強化合宿(11月、12月・福岡他)
- ・第9回九州ジュニアジャンボリー大会(平成20年1月27・28日・福岡、平成20年3月3・4日・大分佐伯)
- ・各県委員長会議(4月・8月・9月・10月・1月)
- ・インストラクター講習会(10月7日~9日・熊本)

9. 普及委員会

- ・タグフェスタ IN
 - 大分(5月)・佐賀(5月)・福岡(10月)
 - 熊本(10月)・鹿児島(10月)・沖縄(10月)
 - 宮崎(10月)・長崎(11月)
- ・タグ指導者講習会
 - 鹿児島(6月)・宮崎(6月)・沖縄(7月)
 - 長崎(8月)・大分(8月)・佐賀(8月)
- ・第35回少年ラグビー交歓会(8月15日~17日・阿蘇)
- ・ミニ・ラグビー交流大会
 - 第9回西九州交流大会(9月23日・佐賀)
 - 第9回東九州交流大会(11月2日・鹿児島)
 - 沖縄県交流大会(11月23日・沖縄)
 - 南九州交流大会鹿屋カブ(2月8日・鹿児島)
- ・第3回九州女子タグラグビー大会(12月7日・鹿児島)
- ・ミニ・ラグビー指導者講習会
 - 福岡(5月)・宮崎(7月)・大分(7月)・佐賀(7月)
 - 熊本(9月)・長崎(9月)
- ・サントリーカップ全国大会予選(11月~21年2月・各県)
- ・普及育成委員会(4月26日~27日)

10. 安全対策委員会

- ・安全対策委員長会議(6月、11月・東京)
- ・安全推進講習会(2月~5月・福岡他各県)
- ・メディカル・安全対策委員会合同総会(3月)
- ・安全推進キャンペーン(8月・大分)

11. 強化・セレコン委員会

- ・社会人・学生試合視察(9月~12月)
- ・強化・セレコン委員会(平成)21年1月・福岡)
- ・クラブ選抜対学生選抜試合(平成21年3月20日・福岡)

- クラブ選抜(41-12)学生選抜
- ・九州代表試合関係
 - 三地域対抗 九州(7-48) 関東(3月14日・長崎)
 - 九州(33 67) 関西(3月29日・花園)
- ・第59回朝日招待ラグビー(3月20日・福岡)
 - 九州代表(38-55)早稲田大

12. 総務委員会

- ・会員名簿の作成(7月)
- ・主要スケジュール・メンバー表の作成・配布
- ・九州・各県公式試合の編成・発行
- ・各新聞における関係記事のスクラップ

13. 広報委員会

- ・日本協会機関誌「協会だより」への投函(5回)
- ・ホームページの更新(都度更新)
- ・トップリーグ共同記者会見の開催(7月)
- ・各委員会との連携によるファン拡大・観客増に向けた取組み

14. メディカル委員会

- ・公式戦への医師派遣 約1,500試合(4月~3月・各県)
- ・日本代表帯同医師派遣協力
 - 日本代表・U20日本代表・高校日本代表
- ・総務委員会(9月7日・福岡)
- ・三地域メディカル委員連絡協議会(10月5日・東京)
- ・日本協会メディカルコミッティ総会(21年4月5日・東京)
- ・安全対策合同総会(3月7日・福岡)
- ・日本協会競技力向上委員会対イカコミッティ総会(4月・東京)
- ・トップリーグメディカルコントロール 21試合

15. 個人登録制度(傷害見舞金共済運営事業)

<登録>

- ・登録状況 501チーム(+11) 18,015人(+666)

<傷害見舞金>

- ・傷害審査件数 124件(-15)内、重症事故 6件
- ・見舞金 2,910千円(-1,210千円)
- ・審査委員会は年12回開催

16. 招待試合

- ・第59回朝日招待ラグビー(平成21年度3月20日・福岡)
 - 九州代表(38 55)早稲田大